

沖縄労働局発表  
 令和3年5月28日(金)

厚生労働省 沖縄労働局 職業安定部  
 担当 部長 大山 徹  
 職業安定課長 知念 照二  
 電話 098-868-1655

## 「労働市場の動き」令和3年4月

沖縄の雇用情勢をみると、求人に対して求職の超過が続いており、厳しい状況にある。新型コロナウイルス感染症が雇用に与える影響に注意する必要がある。

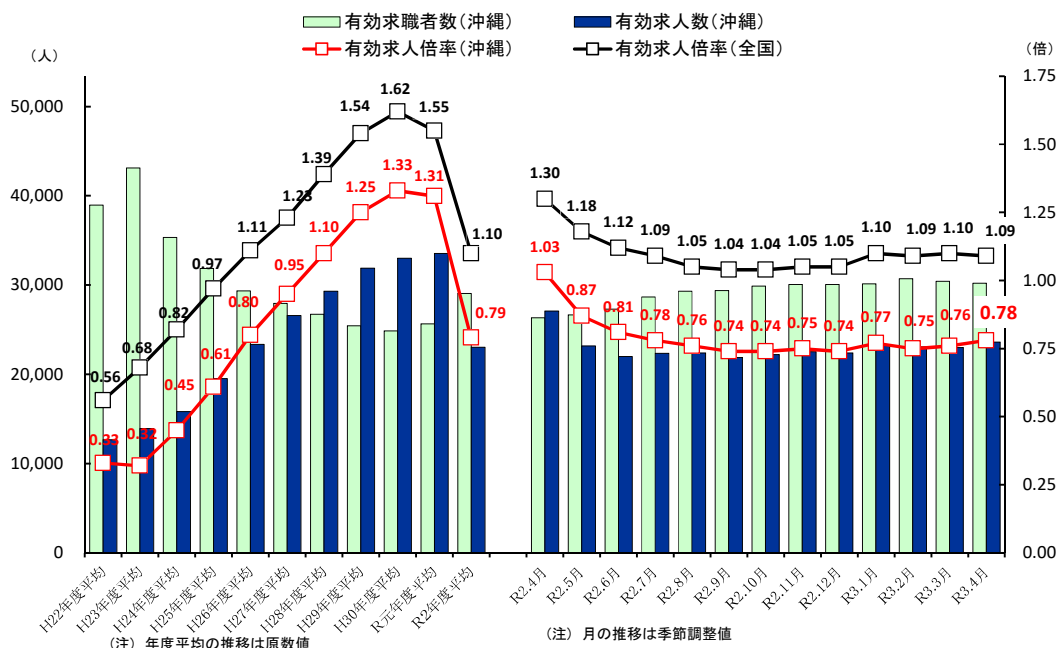
### (就業地別)

- 有効求人倍率(季節調整値)は0.78倍で、前月より0.02ポイント上昇
  - 新規求人倍率(季節調整値)は1.29倍で、前月より0.22ポイント低下
  - 正社員有効求人倍率(原数値)は0.43倍で、前年同月より0.07ポイント低下
- (【参考】令和3年3月の正社員有効求人倍率(原数値)は、前年同月より0.14P低下)

### (受理地別)

- 有効求人倍率(季節調整値)は0.71倍で、前月より0.02ポイント上昇
- 新規求人倍率(季節調整値)は1.18倍で、前月より0.18ポイント低下
- 正社員有効求人倍率(原数値)は0.38倍で、前年同月より0.06ポイント低下

### 求人、求職及び有効求人倍率の推移



### 沖縄県の完全失業率(原数値)は3.7%で、前年同月より0.3ポイント上昇

【参考】令和3年3月は、完全失業率(原数値)4.4%で前年同月より1.5P上昇であった。

(注)

1. 求人倍率とは、求人数を求職者数で割った数値で求職者1人あたり何件の求人があるかを表します。
2. 就業地別求人数とは、全国のハローワークで受理した求人のうち、沖縄県内を就業地とする求人数です。
3. 受理地別求人数とは、沖縄県内のハローワークで受理した求人数で、沖縄県外が就業地の求人も含んだ数になります。

# 1. 新規求人倍率・有効求人倍率の動き(就業地別)

(1) 新規求人倍率(季節調整値)は1.29倍で、前月より0.22ポイント低下。

- ① 新規求人数(季節調整値)は7,709人で、前月比16.7%減(1,548人減)となった。
- ② 新規求職申込件数(季節調整値)は5,972件で、前月比2.7%減(163件減)となった。

(2) 有効求人倍率(季節調整値)は0.78倍で、前月より0.02ポイント上昇。

- ① 月間有効求人数(季節調整値)は23,610人で、前月比2.5%増(583人増)となった。
- ② 月間有効求職者数(季節調整値)は30,208人で、前月比0.8%減(242人減)となった。
- ③ 正社員の有効求人倍率(原数値)は0.43倍と前年同月より0.07ポイント低下(前々年同月比0.17ポイント低下)となった。

※ 求人倍率(受理地別)

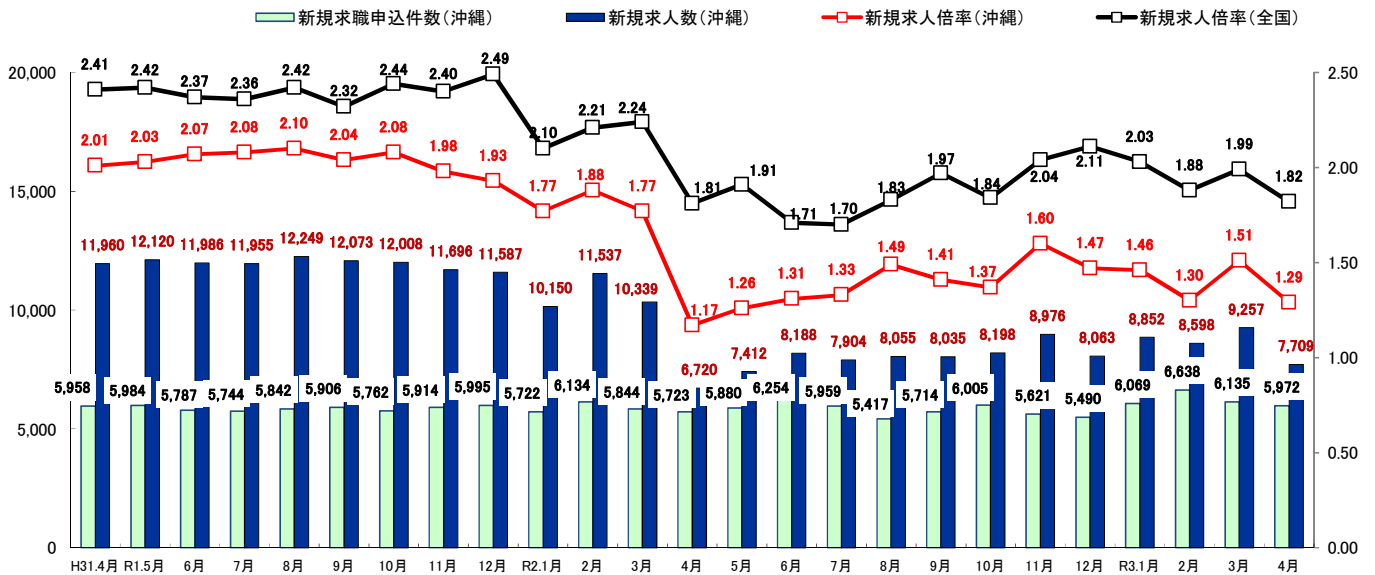
(1) 新規求人倍率(季節調整値)は1.18倍で、前月より0.18ポイント低下。

- ① 新規求人数(季節調整値)は7,053人で、前月比15.7%減(1,309人減)となった。
- ② 新規求職申込件数(季節調整値)は5,972件で、前月比2.7%減(163件減)となった。(再掲)

(2) 有効求人倍率(季節調整値)は0.71倍で、前月より0.02ポイント上昇。

- ① 月間有効求人数(季節調整値)は21,542人で、前月比2.5%増(535人増)となった。
- ② 月間有効求職者数(季節調整値)は30,208人で、前月比0.8%減(242人減)となった。(再掲)
- ③ 正社員の有効求人倍率(原数値)は0.38倍と前年同月より0.06ポイント低下となった。

## 新規求人倍率の推移(季節調整値)

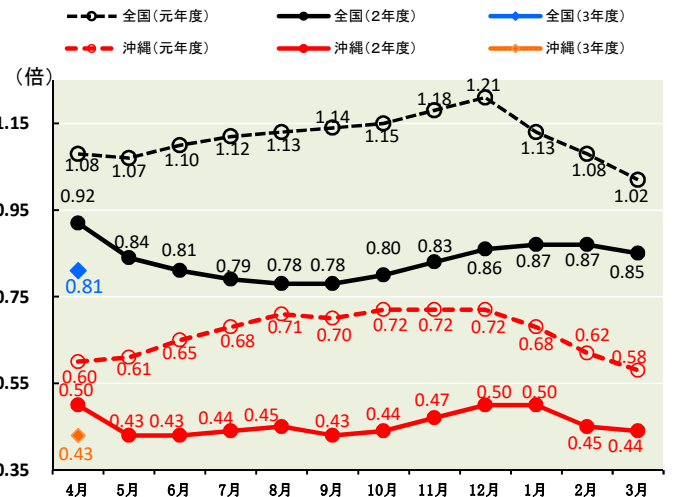


## 就業地別 有効・新規・正社員求人倍率 (新規学卒を除き、パートタイムを含む)

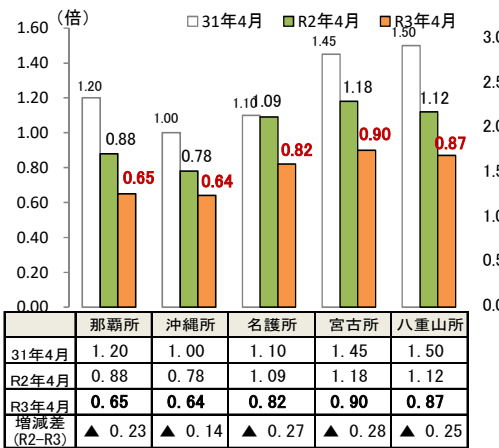
(倍)

	有効求人倍率 (季節調整値)		新規求人倍率 (季節調整値)		正社員有効求人倍率 (原数値)	
	沖縄県	全国	沖縄県	全国	沖縄県	全国
H31年4月	1.34	1.62	2.01	2.41	0.60	1.08
R2年4月	1.03	1.30	1.17	1.81	0.50	0.92
R3年3月	0.76	1.10	1.51	1.99	0.44	0.85
<b>R3年4月</b>	<b>0.78</b>	<b>1.09</b>	<b>1.29</b>	<b>1.82</b>	<b>0.43</b>	<b>0.81</b>

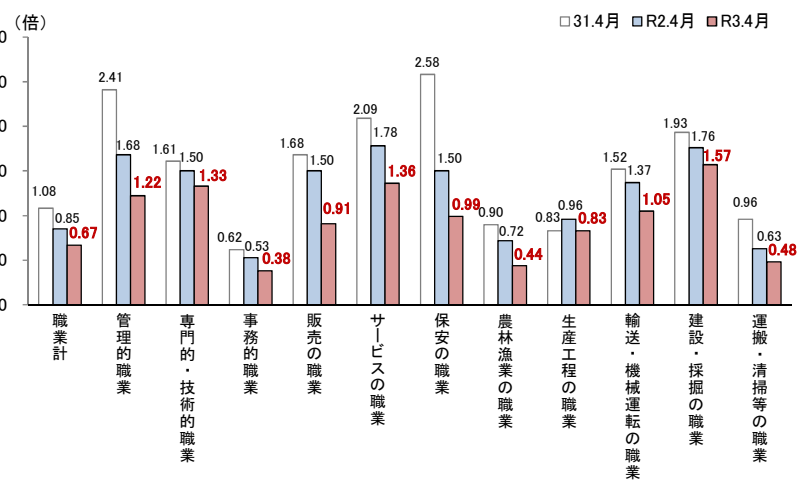
## 就業地別正社員有効求人倍率の推移(原数値)



安定所別有効求人倍率(受理地別全数・原数値)

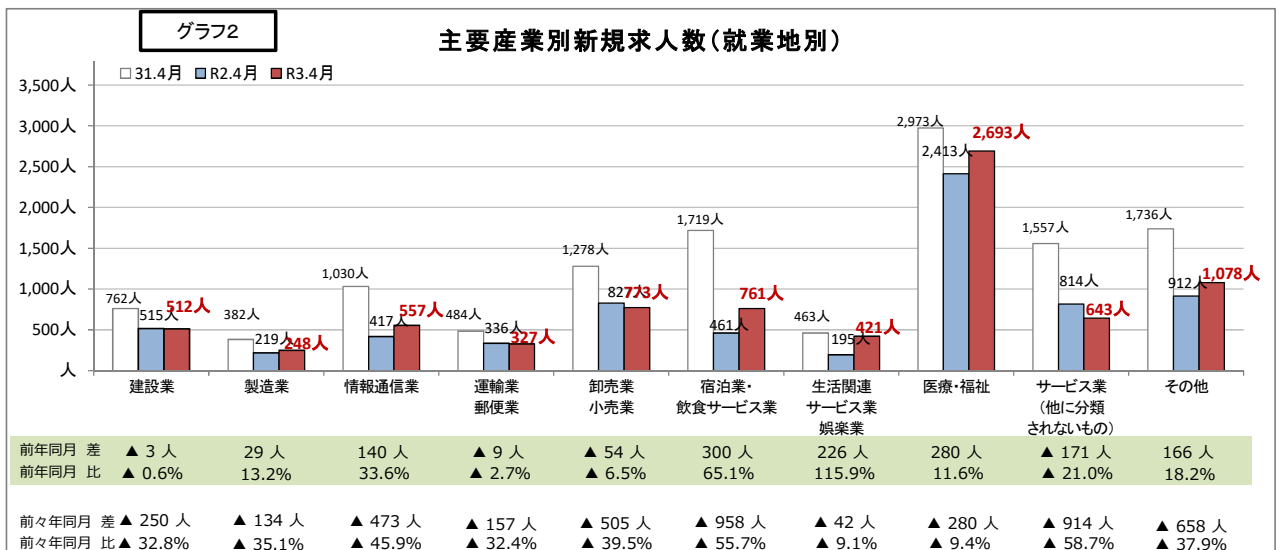
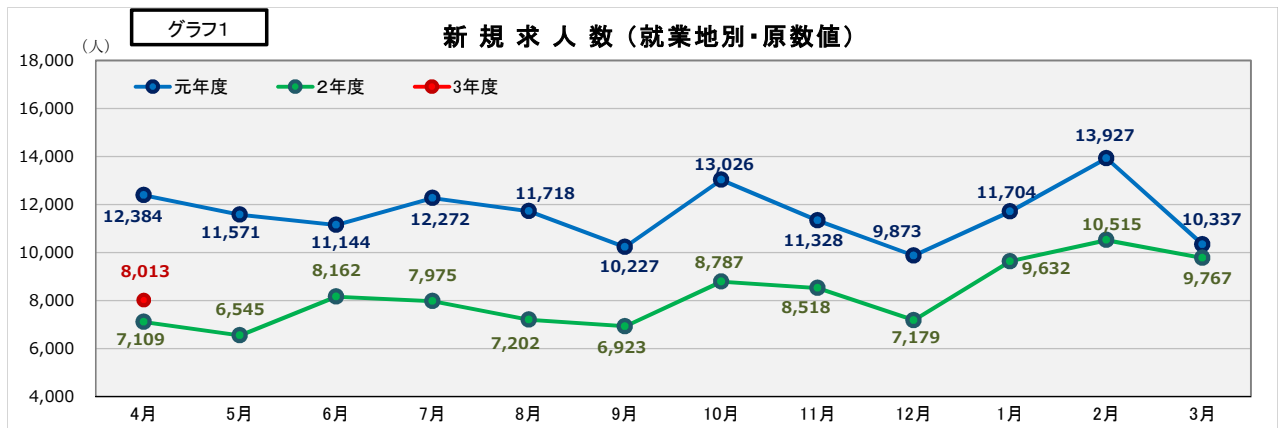


職業別有効求人倍率(就業地別常用・原数値)



2. 求人の動き(就業地別)

- (1) 県内新規求人数(原数値)は8,013人で、前年同月比12.7%増(904人増)と17か月ぶりの増加となった。(令和3年3月は、前年同月比5.5%減(570人減))。うち常用は7,273人で15.8%増(993人増)となった。**グラフ1**  
これを主要産業別に前年同月比で見ると、増加は、生活関連サービス業・娯楽業115.9%増、宿泊業・飲食サービス業の65.1%増、情報通信業の33.6%増、一方、減少は、サービス業(他に分類されないもの)の21.0%減、卸売業・小売業の6.5%減となった。**グラフ2**
- (2) 月間有効求人数(原数値)は24,049人で、前年同月比14.2%減(3,977人減)と16か月連続の減少となった。そのうち常用(雇用期間が4か月以上)は21,533人で、前年同月比10.4%減(2,505人減)となった。
- (3) 正社員について、正社員新規求人数は3,027人で、前年同月比16.5%増(428人増)と16か月ぶりの増加となった(なお、前々年同月(平成31年4月)比では22.7%減(891人減)である)。県内新規求人数に占める正社員求人の割合は37.8%で前年同月比1.2ポイント上回った。正社員有効求人数は8,893人で、前年同月比5.9%減(556人減)と15か月連続の減少である(前々年同月比は19.6%減(2,170人減)である)。
- (4) パートタイム求人について、新規求人数(原数値)は2,723人で、前年同月比6.2%増(160人増)となり、月間有効求人数は8,486人で、前年同月比24.5%減(2,751人減)となった。

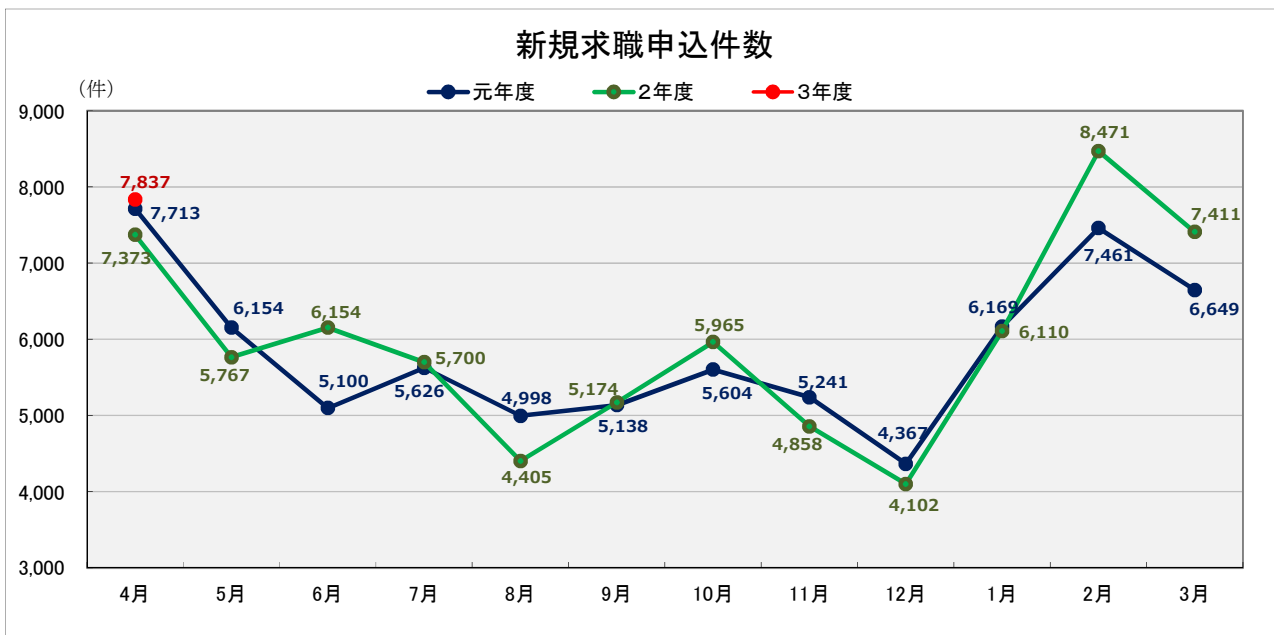


### 3. 求職の動き

(1) 新規求職申込件数(原数値)は7,837件で、前年同月比6.3%増(464件増)と3か月連続の増加となった。  
 (令和2年3月は、前年同月比11.5%増(762件増))。うち常用は7,790件で、前年同月比6.7%増(492件増)と3か月連続の増加となった。また、臨時・季節は47件で、前年同月比37.3%減(28件減)となった。

(2) 月間有効求職者数(原数値)は32,540人で前年同月比14.1%増(4,023人増)と28か月連続の増加となった。  
 そのうち常用は32,337人で、前年同月比14.0%増(3,983人増)と28か月連続の増加となった。  
 また、臨時・季節を希望する求職者は203人で、前年同月比24.5%増(40人増)となった。

(3) 雇用保険受給者実人員は6,447人で、前年同月比44.9%増(1,998人増)となった。



新規求職者申込件数(常用)の状況について

(単位:件,%)

	新規求職申込件数(常用)合計	前年同月比	就業・不就業の状態別									
			在職者		離職者		うち事業主都合		うち自己都合		無業者	
			前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比		
2年4月	7,298	▲ 5.1	1,168	▲ 5.0	5,498	▲ 6.8	2,212	▲ 2.2	2,966	▲ 10.7	632	12.9
3年3月	7,379	11.4	2,232	▲ 4.2	3,936	11.6	1,050	13.6	2,709	10.7	1,211	58.1
<b>3年4月</b>	<b>7,790</b>	<b>6.7</b>	<b>1,411</b>	<b>20.8</b>	<b>5,706</b>	<b>3.8</b>	<b>2,139</b>	<b>▲ 3.3</b>	<b>3,251</b>	<b>9.6</b>	<b>673</b>	<b>6.5</b>

新規学卒を除き、パートを含む。(原数値)

### 4. 就職の動き

(1) 就職件数は1,967件で、前年同月比8.8%減(190件減)と3か月ぶりの減少となった。

(2) 県内就職は1,853件(構成比94.2%)で、前年同月比9.2%減(118件減)と3か月ぶりの減少となった。

(3) 県外就職は114件(構成比5.8%)で、前年同月比1.7%減(2件減)と3か月ぶりの減少となった。

【用語の説明】

1.常用とは、雇用契約において雇用期間の定めがないか、又は4か月以上の雇用期間が定められているもの(季節労働を除く。)をいう。

2.臨時・季節について、臨時とは、雇用契約において1ヶ月以上4ヶ月未満の雇用期間が定められているものをいい、季節とは、季節的労働需要に対して就労するもの、又は季節的な余暇を利用して一定の期間(4ヶ月未満、4ヶ月以上の別を問わない。)を定めて就労するものをいう。